



楽しい釣りのために

海上保安部からのお知らせ

海のもしもは「118」番

★気をつけて！

こんな事故が起きています

11月のある日、Aさんは釣りをしようとプレジャーボートで港を出港、Bさんも釣りをしようと別の港からプレジャーボートで出港し、それぞれ目的地へ向けて航行していたところ、進路が交差して2隻が接触した。幸いお互い怪我もなく、船もかすった程度の傷だったが、接触の状況によっては大事故に繋がる場所だった。



高速で航行している時は特に見張りを厳重に行い、相手船の動作によっては早めに速度を落とす等事故の防止に努めましょう。

11月のある日、Aさんはプレジャーボートで船釣りを終え、港へ帰るために航行していたところ、エンジンに異音が生じて航行できなくなった。自分で調査するも原因がわからなかったため118番通報した。



航行中に船の状態に不安を感じた場合は、無理をせず助けを求めましょう。

11月のある日、Aさんは自分の船の先を短いロープを使って護岸に繋いで帰宅した。やがて潮が引いて、船の先が海面から上がり、護岸に乗り揚げた状態になった。



このままの状態では再び潮が満ちてきたら、船尾から海水が入り船が沈んでしまう恐れがあります。船に係留する際は、潮汐を確認して使うロープの長さを考えましょう。

10月のある日、Aさんはプレジャーボートに乗って船釣り中、釣り場を移動するためエンジンを起動させようとしたが、エンジンはかからなかった。調査した結果、原因はエンジンを止めている間も魚群探知機等の電子機器を作動させていたことによるバッテリーの過放電だった。



バッテリーがあがってしまうとエンジンは起動できません。エンジン停止中に電子機器を使用する際は十分注意しましょう。

10月のある日、Aさんはプレジャーボートに乗って船釣り中、釣り場を移動するため航行を始めたところ、エンジンに異音が生じてスピードが出なくなった。しばらくそのまま航行を続けたもののさらにエンジンが不調となったと不安に思ったため、118番通報した。



航行中に船の状態に不安を感じた場合は、無理をせず助けを求めましょう。



楽しい釣りのために

海上保安部からのお知らせ

☎ 海のもしもは「118」番

★ 気をつけて！

こんな事故が起きています

10月のある日、Aさんは渡船で島に渡り岩場で釣りを始めた。
島で釣り場を移動中、躓いて転び岩に顔面を打ち付けて、目の下を骨折した。



岩場は平らではないので、足元には十分注意しましょう。
また岩場は尖った部分が多く、身体が接触すると負傷しやすいので服装等にも気を付けましょう。

9月のある日、Aさんは買ったばかりの中古のプレジャーボートを自分の定係地まで回航していたところ、エンジンが白煙を上げたため船を停めた。再びエンジンを起動しようとしたが、起動しなかった。
出港直後からエンジンの調子が良くなかったためAさんは不安を感じていた。



買ったばかりの船であっても出航する前には自分の目でしっかり点検しましょう。
また少しでも不安を感じた場合は無理をせず、航海を中止して修理の手配を検討しましょう。

8月のある日、Aさんは釣りをするためプレジャーボートに乗って、魚群探知機を使いながら低速で航行していたところ、突然エンジンが停止してしまっ。再びエンジンを起動しようとしたが、バッテリーがあがってしまっていてエンジンはかからなかった。
調査した結果、原因は電気系の異常のほかバッテリーの経年劣化、低速運航による充電不足だった。



バッテリーがあがってしまうとエンジンは起動できません。
出航前に十分点検しましょう。バッテリーの充電方法もしっかり把握しておきましょう。

8月のある日、Aさんはプレジャーボートに乗って船釣り中、釣り場を移動するためエンジンを起動させようとしたが、エンジンはかからなかった。
調査した結果、原因はエンジンを止めている間もGPSの電源をずっと入れっぱなしにしていたことによるバッテリーの過放電だった。



バッテリーがあがってしまうとエンジンは起動できません。
エンジン停止中に電子機器を使用する際は十分注意しましょう。



楽しい釣りのために

海上保安部からのお知らせ

海のもしもは「118」番

★気をつけて！

こんな事故が起きています

8月のある日、Aさんは友達が操縦する水上オートバイに同乗していたところ、気分が高揚してふざけて海に飛び込んだ。ちょうどそこに浮いていた流木に顔を接触させたため、眉の上を7針縫う怪我を負った。



海の上で無謀な行為は直接生命に影響を及ぼすこともあるので、とても危険です。絶対に止めましょう。

8月のある日、Aさんは水上オートバイに乗っていたところ、エンジンが起動しなくなりました。連絡手段を一切持っていなかったため、近くの漁船に携帯電話を借りて118番通報した。調査した結果、原因はバッテリーの過放電だった。



海に出る際に連絡手段の携行は必須です。また、バッテリーがあがってしまうとエンジンは起動できません。出航前にはしっかり点検しましょう。

8月のある夜、岸壁で釣りをしていたAさんは、釣り場を変えようとライトを使わずに移動したところ隙間に気付かず、海中に転落した。仲間がすぐに通報したこと、Aさんにバケツを投げてつかまらせたこと、Aさんと岸壁をロープでつなげたことからAさんは流されることなく救助され、かすり傷程度で済んだ。



夜釣りにライトは必須です。仲間と行動し、万一のためにライフジャケットを必ず着用しましょう。

8月のある日、Aさんはプレジャーボートで船釣りを終え、港に帰っていたところ、突然エンジンが停止し航行不能になった。調査した結果、原因は配線の接触不良だった。



出航前にはしっかり点検しましょう。

8月のある日、Aさんはプレジャーボートに乗ってお酒を飲みながら釣りをした後、海に入り泳いでいたところ溺れて亡くなった。



お酒を飲んで海に入ることは非常に危険です。もちろん飲酒しての船の運航は遵守事項違反です！



楽しい釣りのために

海上保安部からのお知らせ

海のもしもは「118」番

★気をつけて！

こんな事故が起きています

8月のある日、プレジャーボートで港に帰る途中、乗船者していたAさんが海中に転落し、回転していた船外機のプロペラに太ももが接触したため、手術を伴う大ケガを負った。



航行中の船の上では転倒や海中への転落防止のため手すりなどにしっかりつかまりましょう。

7月のある日、Aさんは港に係留していた自分の船を陸揚げするためロープを外していたところ、隣の船のロープに自分の船が引っ掛かったので、足でこれを取り除こうとしたら誤って海中に転落した。その際に自分の船の突起物にふくらはぎが当たり手術を伴う大ケガを負った。



船にはいろいろな突起物を取り付けられています。さらに小さな船は不安定で揺れやすいので、自分の体勢を保っておかないとバランスを崩して、すぐに転倒してしまいます。船で釣りや作業をする際は、重心を低くし、しっかり踏ん張れるような姿勢を取るよう心掛けましょう。